

世界選手権、ユニバーで愛好会OBが活躍

8月1～5日にデンマークで開催された世界オリエンテーリング選手権大会日本代表に高橋善徳選手(自然96年入学)と小泉成行選手(自然98年入学)が、8月15～19日にスロバキアで開催された第15回世界大学オリエンテーリング選手権大会(ユニバー)に、坂本貴史選手(自然01年入学)が出場しました。各選手からコメントをいただきました。



坂本貴史さん

筑波大学オリエンテーリング愛好会に参加した人達の会のみなさま

世界大学選手権大会に出場して参りました。今回はスロバキア第2の都市、Kosiceが舞台。29カ国の選手と一緒に走ってきました。私の成績は、ロングディスタンス62位、スプリント失格、リレーは17位(チームは21位)でした。実力不足と選手権直前の体調不良で、目標を達成できませんでした(ロングディスタンス40位以内、スプリント30位以内、リレーはトップの3分以内で帰る)。最後の世界大学選手権で成績を狙うチャンスただだけに、残念です。唯一評価できるかなと思うのがトップ比で、今まで130%が上限であったのが、最高113%を出すことができ、その点は評価しています。

選手権後もトレーニング機会を求め、スウェーデンへ渡り、3週間ほどトレーニングをしてきました。スウェーデンは2003年以来2度目。今年の残りの期間はレースのオフシーズンにして、オリエンテーリングの整理や更なる体力強化を図ろうと考えています。次の目標は2007年か2008年の世界選手権どちらにしようか、オフシーズンを利用してゆっくり考えようと思っています。と同時に、日本学連合宿などに参加して、大学選手権を伝えたいと考えています。

最後になりましたが、支援してくださった皆さんに御礼申し上げます。まだまだ未熟な点ばかり目立つ自分ですが、少しずつ改善したいと思いますので、これからもご指南いただければ幸いです。

2006年世界選手権に参加して

筑波大学自然学類96年入学の高橋善徳です。5回目の世界選手権が終わりました。今年はデンマーク第2の都市、オーフスを基点にシルケボーという地域の山々を舞台にした世界選手権でした。デンマークは北欧ではあるものの、今回世界選手権が行われたテラインはとて日本の地形に似ていて、日本チームにとって有利なテラインであったと思います。

5月にぎっくり腰になってしまい、体調的に不完全状態のまま世界選手権を迎えました。私はロング種目に出場しましたが、去年の成績(ミドル種目決勝進出39位)には遠く及ばない成績で予選敗退でした。長いこと競技を続けていると、良い時悪い時は当然あります。今回の成績は自分自身納得できないものでしたが、今後へのモチベーションを得るにはとても有意義な大会でした。

オリエンテーリングの世界選手権に出場する選手は、ほとんどが社会人でありオリエンテーリングのプロ選手というのは少数派です。選手は活躍したからといって、経済的な恩恵を受けるわけではありません。でも、彼ら(私達も)は世界にチャレンジするというポジティブな気持ちと達成感を求めて、自分の人生をコントロールし、色んなものと折り合いをつけて世界選手権に臨んでいます。本当に必死になって競技を続けている彼らを見て、この舞台に立つということのすばらしさとか、意味深さを感じました。自分の人生を掛けて準備している人たちの中でもう一度走りたい。そして、感動して震えが繰り返すような結果を出してみたい。心のそこからそう思いました。

しかしながら、来年は世界選手権への挑戦を見送る予定です。これから1年間は自分を見つめなおしたり、周りの人と一緒に過ごしたりする時間を大切にしたいと思います。

最後になりましたが、今回の遠征に際しまして多額の援助、声援をいただきましてありがとうございました。高橋の活動はこれからも続きます。引き続きご指導のほどよろしく願いいたします。



高橋善徳さん

世界選手権ご報告

前略 筑波大学OB・OG愛好会のみなさまへ

デンマークの世界選手権に参加してまいりました、小泉です。

私はスプリントとリレーを走りました。結果から言いますと、スプリントは16位で予選落ち(15位まで通過)、リレーは1走を走り28位と目標(スプリント決勝40位、リレー20位)を達成できず、無念な結果に終わってしまいました。

結果がすべての世界ですので、力が足らなかったということ以上の言い訳はできません。私は2008年の世界選手権で個人決勝20位を大きな目標に置いて強化を続けています。それに向けて、あと2年、残された時間は短いですが、精進していきたいと思えます。

しかしながら、ダメだったなりに結果を分析すると、世界に本格的挑戦し始めた2004年頃と比較してトップとの差はかなり縮まってきました。とくに自信がなかった体面での向上が見られたのでこれまでのトレーニングの方向性は間違っていないことが確認できました。あとはひたすらよい方向に変わっていけるよう精進していこうと思います。結果分析については私のウェブサイト(<http://homepage2.nifty.com/controls/>)で公開しておりますので合わせてご覧ください。

これからも私の国内外での成績を少しでも気にかけていただきながらご声援いただければ幸いです。

最後になりましたが、援助金をご支援いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



小泉成行さん

遠征援助金へご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

2006年世界選手権の結果

Long Men-A

01.Jani Lakanen	58:21,1
02.Michal Smola	60:15,7
03.Thierry Gueorgiou	60:17,3
15.Zoltan Denes	70:35,9

--ここまで予選--

25.Yoshinori Takahashi 78:46,3

Sprint Men-C

01.Fabian Hertner	15:11,4
02.Pieter Hendrickx	15:28,6
03.Pavlo Ushkvarok	15:33,4
15.Axel Fischer	16:27,1

--ここまで予選--

16.Shigeyuki Koizumi 16:52,4

Relay Men

01.Russia	2:11:41
02.Finland	2:15:44
03.Sweden	2:18:22
24.Japan	2:51:37

Shigeyuki Koizumi 52:30

Toshiyuki Matsuzawa 56:33

Hiroyuki Kato 1:02:32

2006年ユニバーシアードの結果

Long Men

01.Michal Smola	72.31
02.Matthias Merz	74.36
03.Oystein Kvaal Osterbo	75.45
62.Takashi Sakamoto	95.33

Sprint Men

1.Oystein Kvaal Osterbo	14.07,1
2.Simonas Krepsta	14.19,3
3.Fabian Hertner	14.22,6
--Takashi Sakamoto	DISQ

Men

01. SUI	144.32
02. SVK	145.55
03. NOR	145.56
21. JPN	204.49

Takashi Sakamoto 44.11

Nobuhiro Nishio 62.41

Yuya Takahashi 42.52

Takahiko Moteki 55.05

筑波杯は男女とも3年生エースが獲得

8月5日に長野県の菅平牧場で第28回筑波杯が開催され、筑波杯は男女とも3年生の青山弘毅くん(自然04年入学)、稲葉茜さん(自然04年入学)が獲得しました。

MFは残念ながら競技不成立のトラブルがあり、参考記録になりました。WFの参加者はなし。伝統的に女子が元気な愛好会なだけに、来年以降の女子会員の増加を願うばかりです。

ME

1 青山弘毅	1:14:47
2 川添智由	1:28:34
3 並木政憲	1:29:58
4 大杉祥二	1:30:45
5 赤塚祥悟	1:51:33
6 小澤健太郎	2:00:27
7 羽生和史	2:08:39

WE

1 稲葉茜	1:07:34
2 千葉妙	1:25:20
3 豊田安由美	1:32:03

MF

下嶋健太	1:29:13
石松純	1:30:32
神谷泰介	2:48:33
岩田敏英	2:52:35

今年度筑波杯を取った青山(自然 - 地球科学・3年)です。

今回のレースでは、今まで全く体験したことのないタイプのテレインで、かつ日差しが強かったのでなかなか厳しいレースでした。コースは前半(1~14)が全体として下り基調、後半(14~23)が上り基調で、1~7ボがAとオープン・セミオープンが混じったテクニカルなエリア、9~14は見通しの利くフルオープンエリアでのオリエン、14から先はほぼラインに沿ったコースという感じでした。

レース中はあまり人には会わず、後半の登りでは、2位だった川添が足で詰めてくると思ってひやひやしながら走っていました。結果としては、川添が前半部分で大きく崩れた為勝つことが出来ましたが、レース自体はそれほど良いものではありませんでした。来年はもっといい走りをして、川添他を完膚なきまでに叩き潰して3連覇を果たしたいと思っています。また、9月のインカレロングでは男子では僕と川添がエリートを走るのですが、会内だけではなくインカレでも良い成績を残せるように、互いに切磋琢磨していきたいです。



青山弘毅くん



稲葉 茜さん

今年の筑波杯WEは参加者が3名で、少し寂しいレースでした。序盤に何度もミスをしてしまったんですが、ツボりあいだったようで、今年も筑波杯を手にすることができました。

ただ、下り基調の前半で何度もミスをしてしまったことや、後半の登りで何度も止まりそうになってしまったりと、納得のいくようなレースはできませんでした。でも納得できないからこそ成長できると思うので、もっとトレーニングを積んで、来年はもっと速く走って優勝したいです。

インカレロング、筑波からは入賞者なし

WULで千葉さん、
MFで石松くんが入賞

9月17日に長野県駒ヶ根市でインカレロングが開催されました。愛好会からは選手権クラスに男女合わせて5名が参加しました。筑波勢からの入賞者はなく残念な結果に終わりましたが、全員が見事完走し、春に向けて更なる飛躍を決意したようです。男子は東大としては太田選手以来10年ぶりに茂木選手が優勝しました。ちなみに3年生でロング(クラシック)を勝ち取ったのは94年の入江選手(東北大)以来です。女子は4年生の米谷選手が優勝。農工大としては85年の角田選手以来21年ぶり。一般クラスではWULで千葉さん(自然04年入学)が優勝、MFで石松くん(生物06年入学)が4位入賞を果たしました。

ME - 9200m 530m			
1	茂木 堯彦	1:22:14	東京3
13	青山 弘毅	1:36:09	筑波3
56	川添 智由	2:14:57	筑波3

WE - 5700m 270m			
1	米谷 法子	1:04:13	東京農工4
18	稲葉 茜	1:36:22	筑波3
19	豊田 安由美	1:37:08	筑波3
34	白形 由貴	2:02:19	筑波2

オフィシャル 佐々木良宜さん(自然99年入学)のコメント

学生は10月末に控えている筑波大大会の準備をしながらこの大会に向けて準備してきました。スピトレやLSDなどの体力トレーニングや地図読みのトレイン対策、がんばっている学生の姿には目を見はるものがありました。

主な結果からすると愛好会としては、WUL、MFクラスで各1人ずつの入賞でした。自身の目標を達成できた人は少なく、外からみると少しさびしいものとなったかもしれません。タフなコースでのレース経験の不足が原因かとも思われますし、オフィシャルの指導にも一因はあります。ここは大きく反省するところです。しかし、全員が大きな怪我をせず、また途中であきらめたり、ペナせずフィニッシュできたことはチームとして誇りにおもってください。全員が完走しようとした結果です。学生達の力はまだまだ期待できる場所がたくさんあります。

この大会ですべてが終わっただけではありません。インカレの閉会式の後、3月のインカレ実行委員に引き継がれ、大会が開かれることになりました。目標を持っている限り、ここまでがんばってきたことは必ず次につながります。向上心のある学生がいるからこそ自分の役割があって、義務が生じます。今後の学生ががんばりを信じて3月のインカレをむかえたいと思います。

運営スタッフにはOB・OGも多数おられました。インカレは学生のために開かれる大会であり、それに向けて多くの人が多量の時間をかけて準備していくものです。がんばって結果を出そうとする選手がいるからこそ可能なことだと思います。大会に関わったすべての人に感謝をします。



オフィシャル 多田野清人さん(人文01年入学)のコメント

正直な気持ちを言うと、今回のICL駒ヶ根大会では、望むような結果を得られた選手はあまりいなかった為、私も悔しい想いをしました。それ以上に学生達が現実を突きつけられ、大きく揺さぶられたのだと思います。ICLから10日がたち、今の学生達を見ると明らかに意識が変わってきています。覚醒した彼らと3月に向けていいチームをつくっていけると思います。



第29回筑波大大会、栃木のニューマップで開催

10月29日に栃木県鹿沼市を中心に第29回筑波大大会が開催されます。栃木での開催は2001年以来5年ぶり、久しぶりのニューマップでの開催です。ここ数年続いた12月開催から10月開催に戻ったのも久しぶりです。最近では標準となったGPSによる地図作成を行い、精度の高い地図が提供されるようです。事前参加の期限は過ぎてしまいましたが、当日参加はまだ可能です。会場ではOB・OG総会も開催されますので、ぜひご参加ください。

今年の大会について大会実行委員長の千葉さん(自然04年入学)からコメントが届きました。

平成18年10月29日(日)、栃木県鹿沼市にて開催される第29回筑波大大会に向けて、準備が急ピッチで進められています。古賀志山に程近い里山をまるごと使ったニューテレインです。

今大会の準備は、「新しいテレインを開発し、そこで大会を開きたい!」という思いから動き出しました。大会そのものよりも、後々まで使ってもらえる良質のテレインを提供したかったのです。少ない調査人員で新しい地図を生み出すのはとても困難なことでしたが、地元の方のご協力に支えられここまでやってこられました。今は、この鹿沼が地図デビューするのが楽しみです。みなさん、新しい栃木をぜひ走ってみてください!

大会ウェブサイト: <http://www.orienteering.com/~tsukuba/>



OB・OG総会 筑波大大会会場にて開催

10月29日(日)に栃木県鹿沼市で開催される第29回筑波大大会の会場にて2006年度OB・OG会総会を開催いたします。皆様ふるってご参加ください。

記

日時:2006年10月29日(日) 午後1時半頃(予定)

会場:栃木県鹿沼市菊沢東小学校

議題:2005年度 決算報告、2006年度 予算承認、愛好会30周年記念事業計画

以上

関東リレー、OB・OGチーム募集

毎年冬の恒例行事、関東リレーが今年で5年目を迎えます。今年はまだ開催要項は発表されていませんが、毎年2月の第1日曜日に行われるのが通例です。関東リレーでは各大学のOB・OG対抗リレーが開催されています。筑波大学OBはこれまですべて優勝の4連覇中です。今年ももちろん優勝、5連覇を目指しましょう!

そこで関東リレー5周年と愛好会30周年を記念して多数のOB・OGチームの参加を募ります。

関東リレーの大会情報はジェネシスマッピングウェブサイトやorienteering.comなどをご覧ください。

リレー参加希望の方は小泉(連絡先は下記参照)までご連絡ください。チームを組んでの参加も、選抜チームへの希望も、チーム斡旋希望もすべて受け付けます。皆様のご参加をお待ちしております。

30周年記念ウェア製作決定

愛好会30周年記念を祝して記念オリエンテーリングウェアを作成します。

メーカーはフィンランドのnonameを予定しています。斬新なデザインで京葉OLCや東北大学など各クラブでも続々と採用されているウェアです。デザインは現在鋭意作成中。デザイン発表、申込方法は10月下旬にこむこむオンライン上で行います。ウェブ環境にない方で資料請求を希望される方は、下記連絡先へお問い合わせください。現役生からの購入希望ももちろん可能です!

OB・OG会 賛同金募集

OB会の活動は、会員のみなさまからの賛同金により運営しております。みなさまのご協力をお願い申し上げます。賛同金をいただいた皆様にはOB・OG会名簿と会報誌「こむこむ」の郵送サービスを行っております。

賛同金1,000円/年 (会員同士が結婚した場合は、原則として1人分のみを納めていただきます。)

<納入方法>

(1)郵便口座への振りこみ

口座番号:00130-4-112794 加入者名:筑波大OB愛好会

通信欄にお名前・入学年度をご記入下さい。

(2)大会等でも随時受け付けます。

お近くのOB会役員(小泉、立川、高野、杉崎)にお気軽に声をかけてください。

(3)その他お支払方法については随時ご相談ください。

編集後記

2006年度よりOB・OG会の役員が一新しました。世話人代表を小泉(自然98年入学)、事務局を立川洋(資源98年入学)、高野麻記子(資源00年入学)、会計を杉崎真由子(人文01年入学)が務めております。今回はごあいさつも兼ねて全OB・OGのみなさまへ「こむこむ」をお届けいたしました。これからもOB・OGの交流促進と、次世代への橋渡しになるべく頑張ります。応援よろしく願いいたします。

またこむこむオンライン(<http://www.orienteering.com/~comcom>)をリニューアルし、随時更新しています。ぜひ定期的にご覧ください。

お問合せ先:筑波大学オリエンテーリング愛好会に参加した人たちの会

〒270-0164 千葉県流山市流山5-2-301 小泉成行気付

電話:04-7150-1844(留守電あり)

E-MAIL:comcom.tsukuba@gmail.com